

一般書



父と息子のフィルム・クラブ
デヴィッド・ギルモア / 新潮社
一人息子が学校をドロップアウト。そこで父親は「週に3回映画を観る」ことを約束させる。日々葛藤しながら紡がれる親子の実話。

のうたま2 記憶力が年齢とともに衰えるなんてウソ / 幻冬舎
家族で楽しむ子どものお祝いごとと季節の行事 / 新谷尚紀
伝え上手な患者になる! / 平松類
カーボン・アスリート / 山中俊治
落合務シェフのイタリアン / 世界文化社

小説

ある一日 / いしいしんじ
烈しい生と美しい死を / 瀬戸内寂聴
ほくが逝った日 / ミシェル・ロスタン

児童書

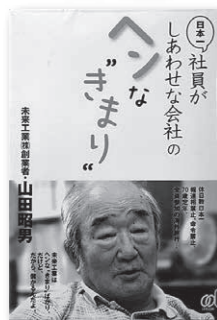


おにぎりがしま
やぎたみこ / ブロス新社
ひとりぼっちのこたろうは、おにぎりから生まれたおにぎりおにと出会います。「おにぎりつくろ!」おにぎりおにとこたろうはおにぎりをたくさんつくって……

「怖い」が、好き! / 加門七海
3.11 が教えてくれた防災の本 全4冊 / かもがわ出版
ふたつの名前で愛された犬 / 平野敦子
オムライス ヘイ! / 武田美穂
おひげおひげ / 内田麟太郎
大迷路 時空列車クロノス / 原裕朗
きょうりゅう、えらいぞ / クリス・ゴール

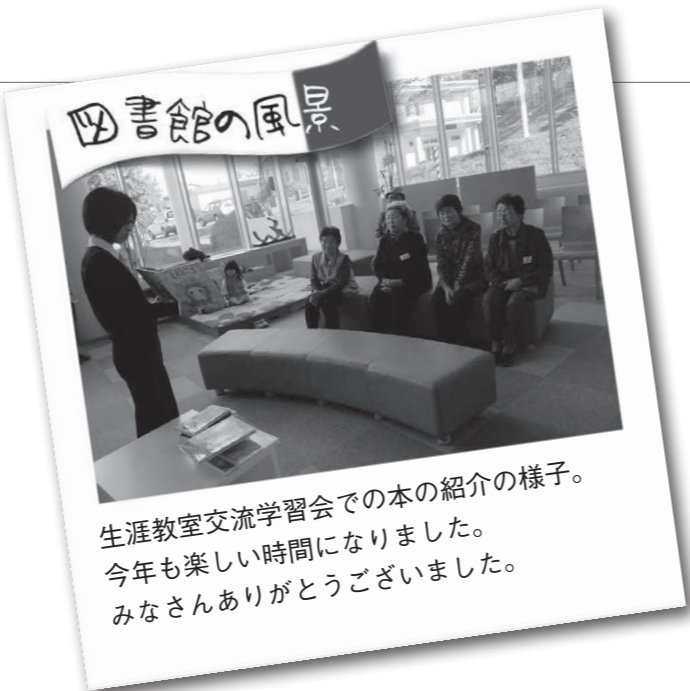
こちらでは新刊図書の一部を紹介しております。予約やリクエストも受け付けておりますので、お気軽にお問合せください。

今月のオススメ



「日本一勤務時間が短い」「休日は年間140日」など、正直このような会社で働いてみたいと思わせる内容が並びます。しかし一方で社員達は他の会社と違うアイデアを常に出し、自分たちで判断・行動し、限られた時間で業務を遂行しなければならないという厳しい面も。「従業員のモチベーションをいかに上げられるか」「社員が幸せなら会社は伸びる」という本書。興味深い1冊です。(角田)

日本一社員がしあわせな会社の「きまり」 / 山田昭男 / ぱる出版



生涯教室交流学習会での本の紹介の様子。今年も楽しい時間になりました。みなさんありがとうございました。

図書館の本で作ってみました

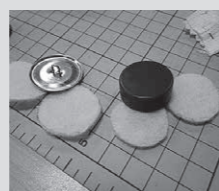


第43回
マカロンポーチをつくる
今回、利用した本は
がんばり! かわいい! みんなのマカロンポーチ
/ パッチワーク通信社

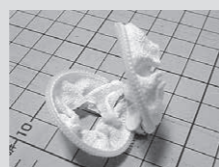
マカロンみたいに丸くてかわいいポーチを作ります。



くるみボタンをつくる材料(土台になる)、布、キルト芯、ファスナーなど。ほとんどが100円ショップでそろいます。



土台の直径からファスナーや布の大きさを割り出します。身近にある円形で近いものを使って型を取りました。写真はキルト芯です。表布も裏布も同様にします。



続いて、ファスナーの端を縫い合わせ、円に沿うようにぐし縫いをしてすばめます。



同じように土台に、キルト芯、布と重ね、端をぐし縫いをしてくるみボタンを作ります

休館日のお知らせ

	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	3
11月	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	

※灰色の部分がお休みの日です。●で囲んである部分がバス運行日です。

11月19日(月)は豊頃小学校の振替休日のため臨時開館します。開館時間 9:00~17:00

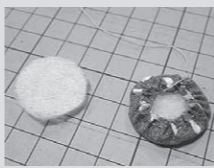
みんなの図書館



スキンケアの常識非常識 木更容子

寒い季節がやってきました。寒さや乾燥によって肌トラブルが増えていますね。日照時間の変化で気分がなんだか上がらないことも。まずはこの本でお肌の基本を知りましょう!

お肌と心を潤すために



内側の部分も同様に、キルト芯を土台にして布の端をぐし縫いをして合わせます。



ファスナーに先に作ったくるみボタンをまつり縫いしていきます。



内側も同じように。



こんな感じでしょうか?



完成です! ストラップを付けてみました☆

今回は27mmと小さめの材料でしたので、ポーチに入れられるものは小さなアクセサリーぐらいです。ですが見た目もかわいらしく、ストラップなどをつけて持ち運びもしやすい便利なポーチになりそうです。所要時間は3時間程度。何かを作るといのはとても良い気分転換になるそうですよ。ぜひマカロンポーチで気分転換を!



何しようかな?明日はお休み PHP 研究所

わかりやすいイラストとQ&A方式でお肌の基礎が学べます。これでお肌対策はばっちりです。では気分が上がらないときはこちら。ドラダラしたっていいんです。けれど何かしたい!そのときにヒントをくれます。身近なところから始めてみることをおすすめします。

今月の展示

寒くなってきました。体も冷え込む毎日です。そこで大きい展示には「体を温めるレシピ」を並べます。しょうがレンピや鍋など、体の内側から温めてください。小さい展示には「編み物」の本を並べます。去年からアームウォーマーなど手首、足首をあたためるものが流行しています。そこで今年も作りしてみたいかがでしょうか。